

2009年9月15日

＜現代キャリア女性に関する意識・生活調査＞

仕事だけでは満足できない現代のキャリア女性

家では「母」「主婦」にいそしむ**キャリアマザー**。家事のアウトソース利用は**13%**に留まる多くの役割を担う生活は「幸せ」だが、「自由になる時間が1時間未満」が**4割**と「ゆとりがない」

博報堂研究開発局は、このたび、30～45歳で首都圏在住のキャリア女性*¹500人を対象に仕事や家庭生活に関する調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。

現代のキャリア女性はいわゆる総合職的なキャリアに加え、「母」や「妻」といった家庭での役割にもしっかり取り組みたいという、仕事だけでは満足できない姿が浮かび上がりました。

特に多くの役割を持つ「キャリアマザー」*²の生活を見てみると、家庭生活においては母親・主婦の役割に励み、仕事においてはキャリアにいそしみと、それぞれの生活において專業者に負けまいと頑張っていることが分かりました。ただ、その生活には自由になる時間がない、ロールモデルがない等課題もあるようです。

現代のキャリア女性の姿について、**キャリアマザー**を中心に、同じキャリア女性である「**キャリアDINKS**」*³「**キャリアシングル**」*⁴や「**共稼ぎ男性**」*⁵「**専業主婦**」*⁶との比較からご紹介いたします。

* 1 : 一部上場企業で昇進に限定がなく、総合的な判断能力を発揮して業務にあたり、異動に際して任地などの制限がない場合が多い職種に従事している女性。または企業の正社員で個人年収600万円以上の女性。

* 2 : 1且つ既婚で共働き、同居する子供がいる女性。配偶者は、同様の条件(ただし個人年収400万円以上)

* 3 : 1且つ既婚で共働き、子供のいない女性。配偶者は、同様の条件(ただし個人年収400万円以上)

* 4 : 1且つ未婚の女性 * 5 : 1と同条件の男性。配偶者は1に該当する女性 * 6 : 子供有り。夫は1と同条件の男性。

結果のポイント**1. キャリアであっても、「母」の役割が最も大きいキャリアマザー**

キャリアマザーは「母」として子供の世話にもっと手をかけたいと考えている他、理想では「妻」の役割をもっと増やしたいと考えており、仕事だけでは満足できない姿が浮き彫りに。

2. 仕事をしながらも、「主婦」として家事を切り盛りするキャリアマザー

キャリアマザーは仕事をしながらも、平日・休日ともに主婦として家事にいそしむ。家事のアウトソースはあまり利用しておらず、自分で切り盛りしている様子。

3. 仕事は「楽しみ」で、ずっと働きたいと考えるキャリアマザー

キャリアマザーは仕事に対しても前向きな気持ちで取り組む。自分の裁量で仕事を進め、仕事を楽しみ、仕事をずっと続けていきたいと思っており、家庭と仕事の両方の役割を担うことに幸せを感じている。

4. 「自由時間」はほとんどないが、何もしていない自分も受け入れ難いキャリアマザー

満足度・幸福度が高いキャリアマザーだが、生活の中で自由になる時間はほとんどなく、何よりも時間が欲しいと考えている。その一方で何もしていない自分は受け入れ難く、常に走り続けなければ、という気持ちが見てとれる。

5. 家庭生活・仕事生活両面でお手本にできる「ロールモデル」がないキャリアマザー

キャリアマザーには家庭生活・仕事生活の両面で参考になるロールモデルはおらず、それぞれ專業者をお手本にするしかない状況で、自分なりに考えて奮闘しているようだ。

お問い合わせ:	博報堂 広報室	西尾・山野	tel:03-6441-6161
	研究開発局	大橋・田村・亀田	tel:03-6441-6152
		勝又	tel:03-6441-6484

<調査結果の詳細>

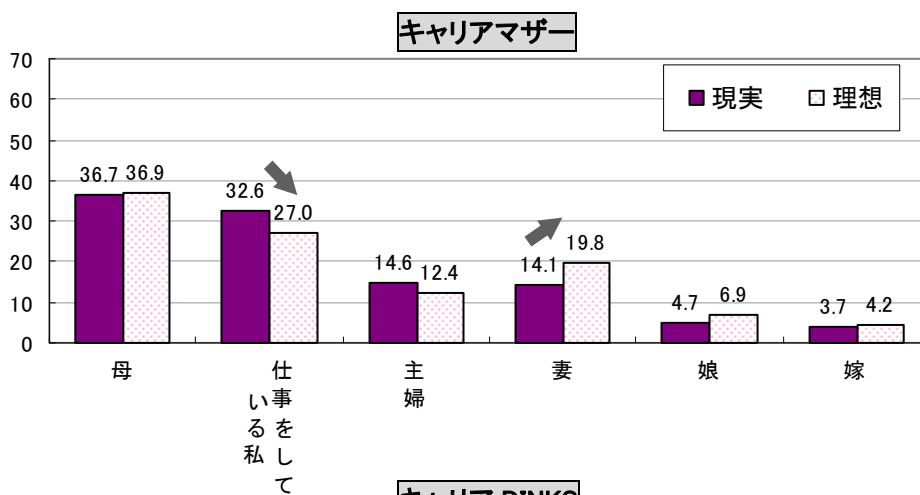
1. 自分の「役割」についての意識

キャリアマザーにとって現実の生活でも理想でも「母」は最も大きな役割。理想としては「仕事」の役割を減らし、「妻」の役割を増やしたいと考えている。一方キャリアDINKS、キャリアシングルは「仕事」での役割を大幅に減らし、家庭での役割を増やしたい願望がある。

キャリアマザーは「キャリア女性」であっても、現実・理想の生活ともに「母」の役割が最も大きく、理想では「仕事をしている私」を減らし、「妻」の役割を増やしたい願望がある。キャリアDINKS・キャリアシングルの現実の役割は「仕事をしている私」に偏っているが、理想では「仕事をしている私」を大幅に減らして「母」や「妻」などの家庭での役割を増やしたいと思っており、キャリア女性が仕事だけでは満足できない様子が伺える。

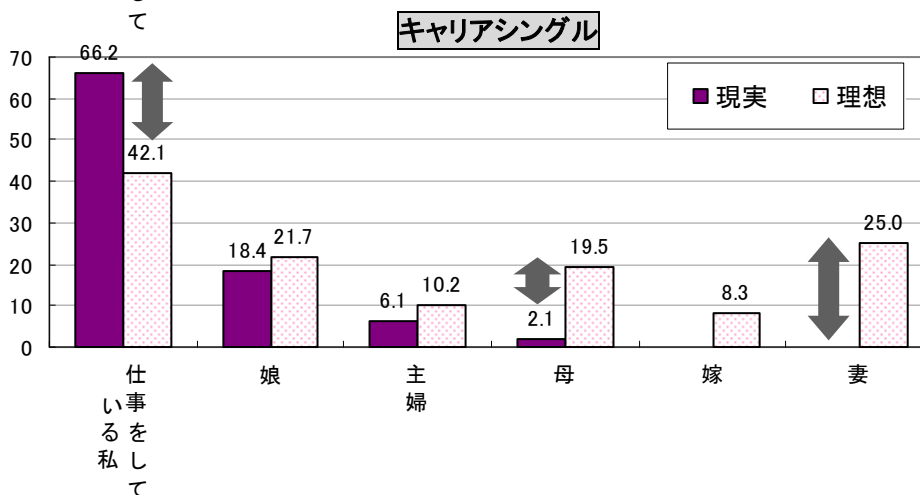
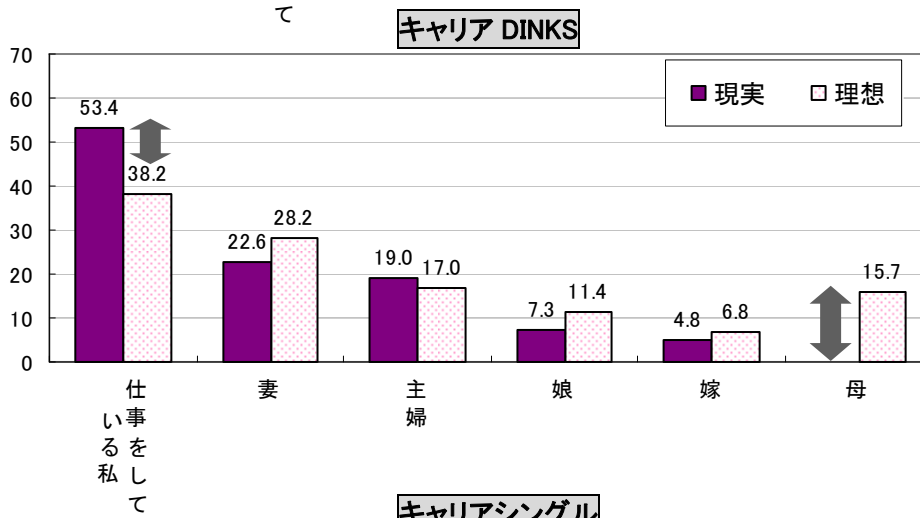
【問1】あなたご自身はどんな「役割」で出来ていますか？

また、理想の自分はどんな「役割」で出来ているとおもわれますか？



* オープンアンサーで記入された役割のうち、N=30以上出現した役割の平均値をグラフ化。
(※キャリアシングルは同様にN=15以上)

* 「現実」が高い順に左から



2. 家庭生活

キャリアマザーは仕事をしながらも、平日・休日ともに家事に奮闘し、子供の世話にもっと手を掛けたいと考えている。「仕事人」としてだけでなく、「母」「主婦」としても頑張っている姿がうかがえる。

キャリアマザー・キャリアDINKSともに約9割の女性が平日、休日ともに自分が中心に家事を担っており、家庭内の家事分担は進んでいない様子。キャリアマザーの家事代行サービスの利用経験は10%程度で、家事のアウトソースもあまり浸透していない。また、キャリアマザーの中には、家での子供の世話を最も時間をかけたいと考える人の割合が大きく、「母」の役割を強く意識していることが分かる。

【問 2-1】料理・洗濯・掃除など、ご家庭での家事はどなたが最も行っていますか？

■最も家事をやっている人(平日/休日)

	(%)								(%)								
	自分	配偶者	自分の両親	配偶者の両親	子供	その他の家族	家政婦/ヘルパーなど	その他	自分	配偶者	自分の両親	配偶者の両親	子供	その他の家族	家政婦/ヘルパーなど	その他	
<平日>									<休日>								
キャリアマザー	90.0	4.5	4.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0	9.5	2.0	-	-	-	0.5	-	
キャリアDINKS	88.0	7.5	1.5	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	89.0	10.5	-	0.5	-	-	-	-	
キャリアシングル	65.0	0.0	28.0	1.0	0.0	3.0	0.0	3.0	74.0	-	23.0	-	-	3.0	-	-	
専業主婦	99.0	0.0	1.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	97.0	2.0	1.0	-	-	-	-	-	
共稼ぎ男性	10.0	86.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	19.0	80.0	-	-	1.0	-	-	-	

【問 2-2】あなたは、以下の商品やサービスをどの程度利用されていますか？

【家事代行サービスの利用経験 「よく利用する」+「ときどき利用する」】

	(%)	
	普段の家事代行サービス	特別な機会の家事代行サービス
キャリアマザー	13.0	14.5
キャリアDINKS	4.0	9.0
専業主婦	1.0	2.0

注:

普段の家事代行サービス

=家の掃除、洗濯、食事の準備など

特別な機会の家事代行サービス

=年末の大掃除など

【問 2-3】あなたが最も時間をかけたいと感じることは何ですか？

<最も時間をかけたいこと 30項目中TOP5>

	の世話の子供	趣味	習い事	仕事	付き合いたい人・友人
キャリアマザー	30.0	22.5	8.5	7.0	4.5
専業主婦	15.0	32.0	6.0	2.0	13.0

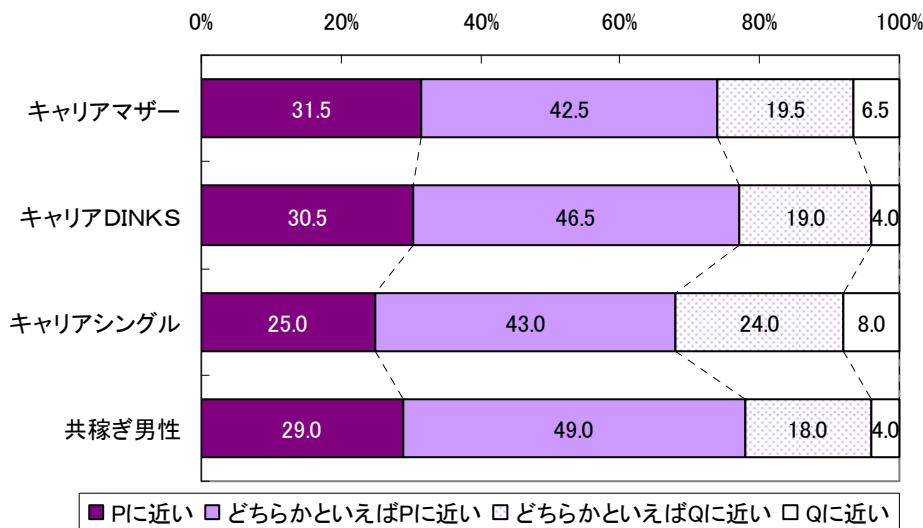
3. 仕事生活

キャリアマザーは家庭での役割を持ちつつも、他のキャリア女性や共稼ぎ男性と同等に、あるいはそれ以上に前向きな気持ちで仕事をしている。仕事を「楽しみ」と感じており、「ずっと働きたい」という気持ちが他のキャリア女性や共稼ぎ男性と比べ強いのは、仕事の捉え方の違いによる影響か。

キャリアマザーの3割以上が自分の裁量で仕事をしているとはっきり自覚している。またキャリアマザーは、キャリアDINKSやキャリアシングルとは異なり、仕事を「生活の糧」というよりも「楽しめる」「自身のリフレッシュに繋がる」ものとして捉えている。さらに、キャリアマザーのうち8割以上の人が「ずっと働きたい」(TOP2BOX)と思っており、キャリアDINKSやキャリアシングル、共稼ぎ男性を上回っているのは仕事の捉え方の違いも影響しているかもしれない。

【問 3-1】以下にあげる「仕事」に関する意見について、あなたのお気持ちはP、Qのどちらに近いですか？

P: 自分の判断で仕事を進めることが多い
Q: 上司の指示で仕事を進めることが多い



【問 3-2】下記の(穴)を埋めて文章を完成させてください。

自分にとって仕事は()だ

【キャリアマザー】 200名中	
楽しみ、生きがい、自己表現、大事	54名
お金、生活の糧	42名
息抜き、気分転換、メリハリ	19名
社会との接点	4名

【キャリアDINKS】 200名中	
お金、自立、生活の糧	93名
生きがい、自己実現、アイデンティティ	45名
生活の中心、必要不可欠	15名
社会との接点	6名

【キャリアシングル】 100名中	
お金、生活のため	34名
必要、生活の基盤、アイデンティティ	22名
自己実現、達成感、成長	11名
義務、奉仕、社会貢献	8名

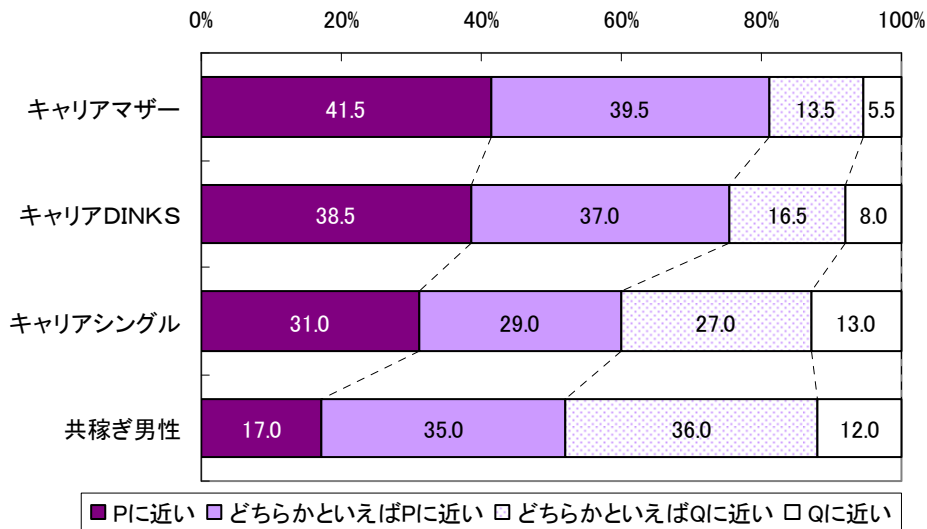
【共稼ぎ男性】 100名中	
がんばっている、一生懸命	7名
ロボット、社会の歯車	5名
自己実現、生き生き	5名
大黒柱、一家の主	4名
つらい、我慢	4名

(※集計方法については最終ページをご参照下さい)

【問 3-3】以下にあげる「仕事」に関する意見について、あなたのお気持ちはP、Qのどちらに近いですか？

P: ずっと働きたい

Q: いつかは働くことをやめたい



4. 幸せな生活にも課題が

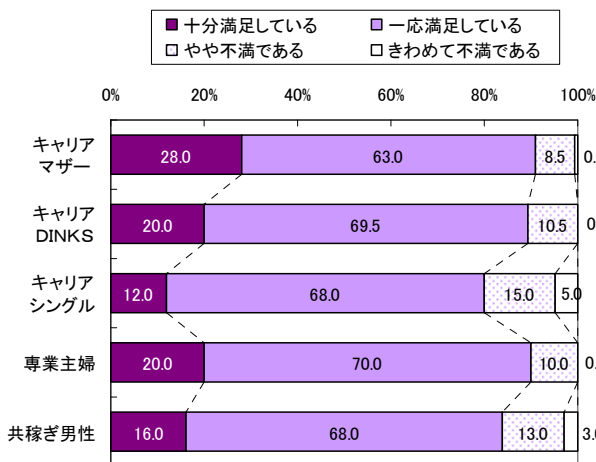
キャリアマザーは自由になる時間が少ないに関わらず、他のキャリア女性や共稼ぎ男性よりも、生活満足度や幸福度が高い。何よりも時間が欲しいと思っている一方で、何もしていない自分は受け入れ難いという気持ちがあるのは「常に走り続けなければ」という気持ちの表れか。

多くの役割をこなすキャリアマザーは、他のキャリア女性や共働き男性に比べて「生活に十分満足」「非常に幸せ」と感じている人の割合が最も高い。しかし平日の自由になる時間が1時間に満たない人が4割で、もっと時間やゆとりが欲しいと思っている。ただ一方で、何もしていない自分に対しては「無意味」「なまけもの」などの回答が上位に。

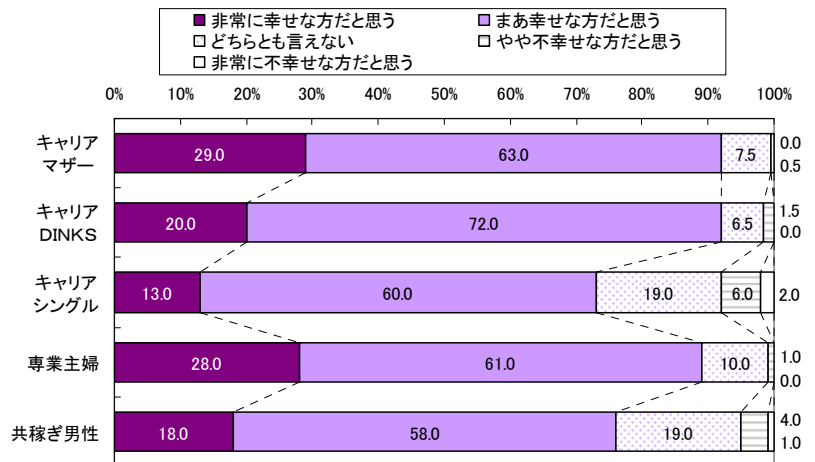
【問 4-1】あなたは現在の生活にどの程度満足されていますか？

あなたは自分のことをどの程度幸せな方だと思われますか？

【生活満足度】



【幸福度】

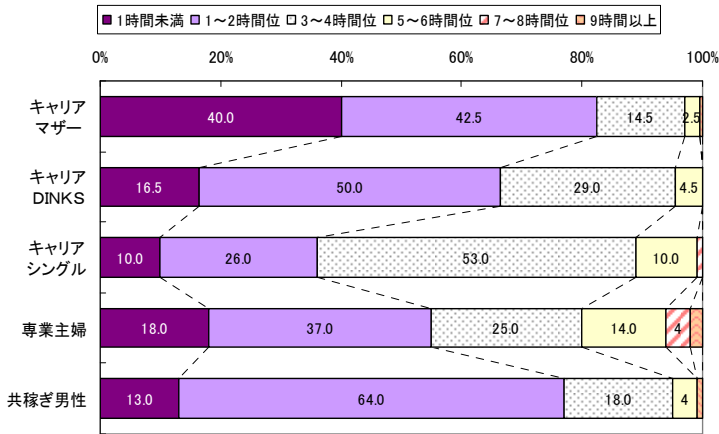


↑
数字上段: やや不幸せ
下段: 非常に不幸せ

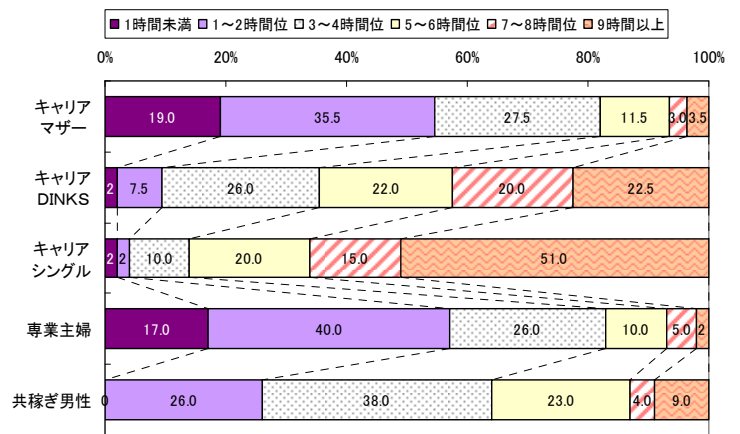
【問 4-2】あなたには、自分の自由になる生活時間が平均して1日あたりどれくらいありますか？

(平日・休日それぞれ) * 自由になる生活時間とは、仕事や家事、育児に費やされる時間や、食事、睡眠、入浴、トイレなど生理的なことに費やされる時間を除いた時間のことです。

【自由になる時間・平日】



【自由になる時間・休日】



【問 4-3】下記の(穴)を埋めて、文章を完成させてください。

自分 + () = 満足

【キャリアマザー】 (200名中)	
時間・ゆとり・自由な時間	44名
お金・収入	21名
子供・子育て	13名
仕事・もっとやりたい仕事	13名

【キャリアDINKS】 (200名中)	
時間・ゆとり	29名
お金・経済力	22名
子供	13名
なし	10名

【キャリアシングル】 (100名中)	
時間・ゆとり	16名
お金 / 結婚・パートナー	12名
愛情	7名

何もしていない自分は ()だ

【キャリアマザー】 (200名中)	
無意味・空虚・抜け殻	26名
なまけもの・だらしない	21名
イヤ・嫌い	11名
自由・開放	10名

【キャリアDINKS】 (200名中)	
なまけもの・ぐうたら・ダメ人間	26名
自由・開放感	19名
退屈・ヒマ	14名

【キャリアシングル】 (100名中)	
なまけもの・ぐうたら・ダメ人間	14名
イヤ・嫌い	9名
自由	7名

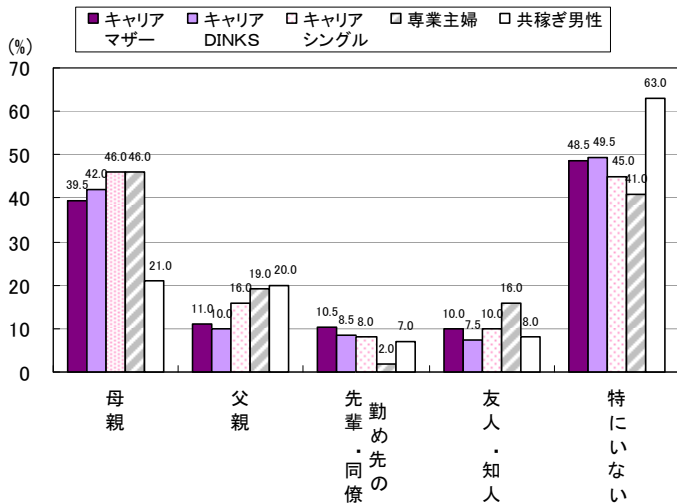
5. ロールモデル

キャリアマザーには、家庭生活・仕事生活の両面で参考になるロールモデルはおらず、それぞれ専門業者をお手本にするしかない状況で、自分なりに考えながら頑張っている姿がうかがえる。

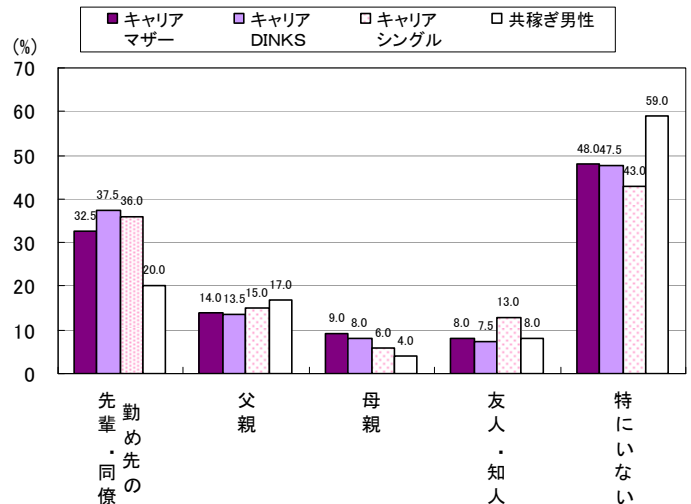
キャリアマザーを含めキャリア女性たちは、家庭生活においては母を、仕事生活においては勤め先の先輩・同僚をお手本にしているが、「特にお手本はいない」という女性も多い。

【問5】あなたには、「家庭生活」の面で、自分の生き方のお手本にしている人がいますか？
あなたには、「仕事」の面で自分の生き方のお手本にしている人がいますか？（複数回答）

【家庭生活】



【仕事】



<調査概要>

- 調査方法：インターネット調査
- 調査地域：首都圏
- 調査期間：2009年3月12日～18日

性別	女性			男性	
職業	正社員・総合職*1 500s		専業主婦*3 100s	正社員 100s	
未既婚・子の有無／年齢	既婚（同居する子供有り）共働き（夫=*2）	既婚（同居する子供無し）共働き（夫=*2）	未婚	既婚・同居子有り（夫=*1）	既婚・同居子有り（妻=*1）
呼称	キャリアマザー	キャリアDINKS	キャリアシングル	専業主婦	共稼ぎ男性
30～45歳	200s	200s	100s	100s	100s

- * 1 一部上場企業で昇進に限定がなく、総合的な判断能力を発揮して業務にあたり、異動に際して任地などの制限がない場合が多い職種。または企業の正社員で、個人年収 600万円
- * 2 一部上場企業で昇進に限定がなく、総合的な判断能力を発揮して業務にあたり、異動に際して任地などの制限がない場合が多い職種。または企業の正社員で、個人年収 400万円以上
- * 3 配偶者の扶養家族 同居する子供あり

(※)問3-2・問4-3は、いったん全てのオープンアンサーをキーワード化した上で、それぞれのキーワードの出現数を集計しています。